

WakeOnLAN コントローラ  
MC3000 ユーザ利用手順書

第 2.0 版

NTT アイティ株式会社

改版履歷

■ 2011 年 06 月 06 日..... 第 2.0 版

# 目次

---

<b>1章. はじめに</b> .....	<b>1-1</b>
1-1) 事前の準備 .....	1-2
1-2) WakeOnLANソフトのライセンス条件 .....	1-3
<b>2章. 電源管理するサーバや自席PCの確認手順</b> .....	<b>2-1</b>
2-1) WakeOnLAN機能の有効化 .....	2-1
2-2) MACアドレス/NWセグメントの確認 .....	2-2
<b>3章. サーバや自席PCの電源オン/オフ手順</b> .....	<b>3-1</b>
3-1) 電源オン手順 .....	3-1
1) v2.7以降のMagicConnect NDL(プラスを含む)の場合 .....	3-1
2) v2.7以降のMagicConnect NDL(プラスを含む)でない場合 .....	3-4
3-2) 電源オフ手順 .....	3-7

---

# 1 章. はじめに

---

本書は、一般ユーザが、マジックコネク特専用 WakeOnLAN コントローラ MC3000 にアクセスし、WakeOnLAN 機能を利用して社内の自席 PC の電源をオン／オフする手順を記載してあります。

## 【利用上の注意】

1. MC3000 を利用するには、インターネットやイントラネットが正常に動作している必要があります。
2. ネットワーク環境は、インターネットの Web サーバの https のページが閲覧できる必要があります。
3. MC3000 と社内のサーバや自席 PC が異なる NW セグメントに配置される場合は、以下の条件を満たす必要があります。満たさない場合は、MC3000 と社内のサーバや自席 PC は同じ NW セグメントに配置してください。

MC3000 から社内のサーバや自席 PC に至る経路上のルータやL3スイッチがディレクティッド・ブロードキャスト等に対応しており、MC3000 から送出されたマジックパケットが社内のサーバや自席 PC に到達できること

4. MC3000 に同梱の電源ケーブルは、本製品以外の電気機器では使用できません。

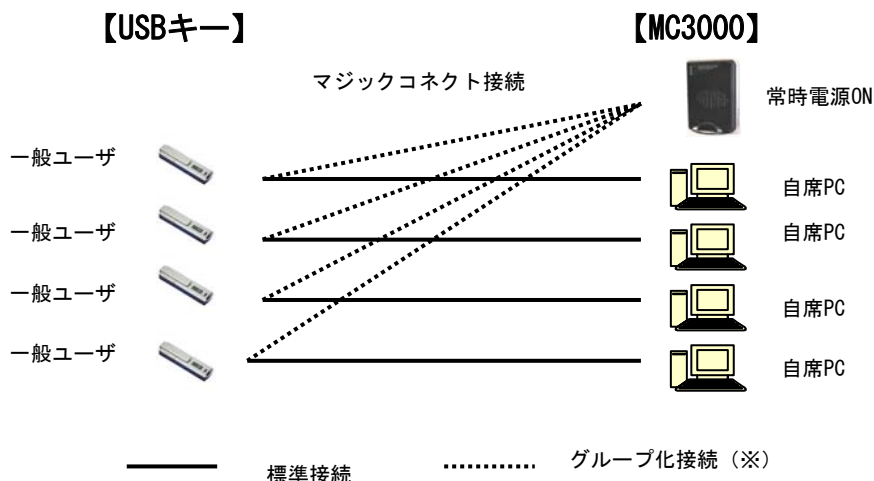
## 1-1) 事前の準備

マジックコネク特専用 WakeOnLAN コントローラ MC3000 の他に、下記のマジックコネク特接続をご用意ください。

さらに、社内の自席 PC、社内ネットワークが記載の条件を満たすようになっていることをご確認ください。

### ①一般ユーザが、MC3000 と自席 PC にアクセスするマジックコネク特接続の用意

#### 接続構成例



※) 同じ契約単位内において、アカウントIDが異なる手元PC (USBキー) と対象機器 (MC3000) を接続可能とします。

### ②自席 PC 等の条件確認

- a) 自席 PC の WakeOnLAN 機能が有効になっていることを確認してください。  
WakeOnLAN 機能の有効化については、2章を参照してください
- b) 自席PCのMagicConnect Clientと利用アプリケーションは、自席PCの電源オンに連動して起動するようになっていることを確認してください。
  - ・ MagicConnect Clientの設定は、USBキーに格納されているMagicConnect取扱説明書の「対象機器での設定」を参照してください。
  - ・ 利用アプリケーション (リモートデスクトップ、ターミナルサービス、ターミナルサーバ、VNC等) の設定は、<http://www.magicconnect.net/support/index.html>に掲載の設定手順書の「対象機器での設定」を参照してください。

## 1 - 2) WakeOnLANソフトのライセンス条件

本ソフトウェアのライセンス条件は、以下となります。ご理解、ご納得いただいた上でご利用ください。

Copyright (C) NTTアイティ株式会社 2007

WakeOnLANソフトウェアはWakeOnLANサーバプログラム、および、WakeOnLANクライアントプログラムです。

本ソフトウェアの著作権はNTTアイティ株式会社が保有します。

以下の条件において、本ソフトウェアの使用を許可します。

1. MagicConnect専用WakeOnLANコントローラとMagicConnectプログラムとの組み合わせにおいてのみ使用してください。

---

## 2章. 電源管理するサーバや自席PCの確認手順

---

古いサーバやPCはWakeOnLANに対応していない場合がありますので、当該の対象機器（起動するサーバやPC）がWakeOnLANに対応しているか確認してください。

また、WakeOnLANに対応している場合でも、MC3000からマジックパケットを受け取っても起動できない場合があります。その場合はサーバやPCのご購入先にお問い合わせください。

### 2-1) WakeOnLAN機能の有効化

対象機器のWakeOnLAN機能を有効にします。

一般的にはBIOSのメニュー内にWakeOnLANを無効／有効にする項目があります。

項目がない場合は、対応していない可能性があります。

BIOSの表示方法や詳細な設定方法は、サーバやPCにより異なりますので、各マシンの取扱説明書を参照してください。

- ①対象機器のBIOSのメニューを表示します。

例：PC起動時に[F2]

- ②WakeOnLANを無効／有効にする項目を「有効」にします。

例：Remote Wake Up ..... Off → On

- ③変更を保存して終了します。

例：[ESC] → Save Changes and Exit

以上で、対象機器の設定は完了です。

## 2-2) MACアドレス/NWセグメントの確認

- ①対象機器の MAC アドレスが必要になりますので、確認してください。
- ②対象機器が MC3000 と同じ NW セグメントにある場合と異なる NW セグメントにある場合では、登録するデータが異なりますので、対象機器と MC3000 の IP アドレスを確認してください。

- MAC アドレス、IP アドレスは、以下のコマンドで確認できます。  
「コマンドプロンプト」を開き、ipconfig /all と実行します。

```
C:\>コマンドプロンプト
C:\Documents and Settings\kato>ipconfig /all

Windows IP Configuration

Host Name . . . . . : 
Primary Dns Suffix . . . . . : 
Type . . . . . : 
Routing Enabled. . . . . : 
Proxy Enabled. . . . . : 
Suffix Search List. . . . . : 

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix . . . : 
    Description . . . . . : Broadcom NetXtreme 57xx Gigabit Cont
    Physical Address. . . . . : 00-11-11-EC-56-43
    Dhcp Enabled. . . . . : Yes
    Autoconfiguration Enabled . . . . . : Yes
    IP Address. . . . . : 192.168.40.139
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.40.19
```

表示例

- 同じ NW セグメント / 異なる NW セグメントの例  
対象機器の IP アドレスが 192.168.40.xxx、サブネットマスクが 255.255.255.0 の場合、
  - 同じ NW セグメント : MC3000 の IP アドレスが 192.168.40.xxx
  - 異なる NW セグメント : MC3000 の IP アドレスが 192.168.42.xxx、10.90.1.xxx 等

## 3章. サーバや自席PCの電源オン/オフ手順

3-1) では、手元 PC から MC3000 にマジックコネクト接続し、対象機器の電源をオンする手順を説明します。

3-2) では、手元 PC から対象機器にマジックコネクト接続した状態で、電源をオフ（シャットダウン）する手順を説明します。

### 3-1) 電源オン手順

#### 1) v2.7 以降のMagicConnect NDL (プラスを含む) の場合

説明は MagicConnect NDL の画面を例に行っています。

①v2.7 以前のバージョンをお使いの場合は、以下の操作を行ってください。

- ・対象機器にインストールされている既存の MagicConnect Client をアンインストールします。そして、v2.7 以降の MagicConnect Client の「mcclient20\_setup.exe」を起動して、インストールします。

その後、必要な設定を行います。なお、必要な設定はこれまでと同じです。

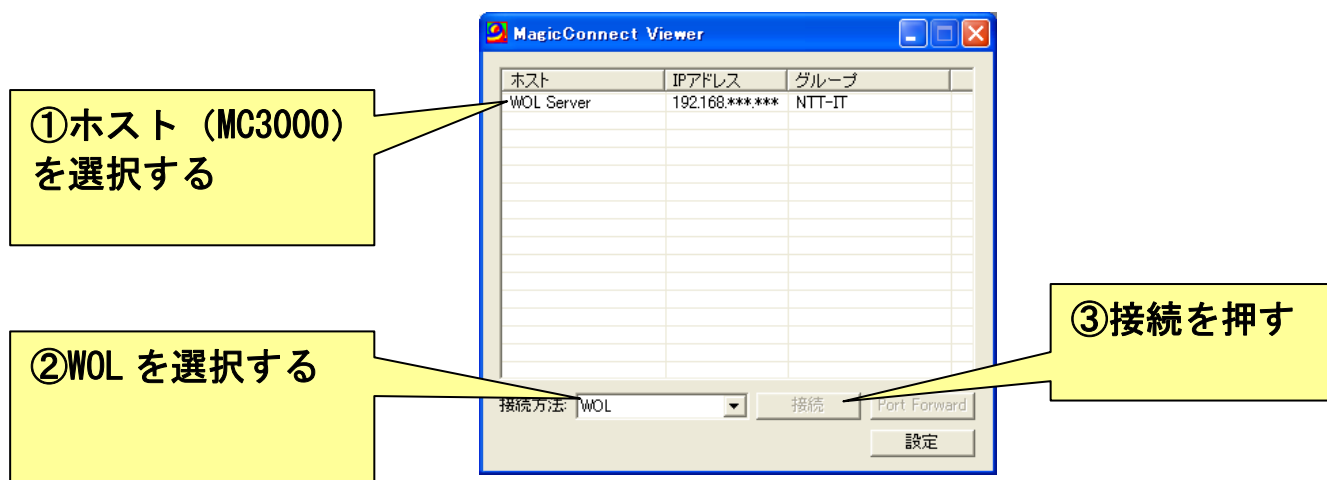
- ・MagicConnect Viewer が、v2.7 の場合は、USB キーの設定ファイル「mcrmt.cfg」に、以下の一行を追加します。v3.0 以降の場合は、設定の必要はありません。

```
=====  
UseWolWithExec = 1  
=====
```

②MagicConnect Viewer を起動し、ユーザ名とパスワードを入力して「OK」を押します。



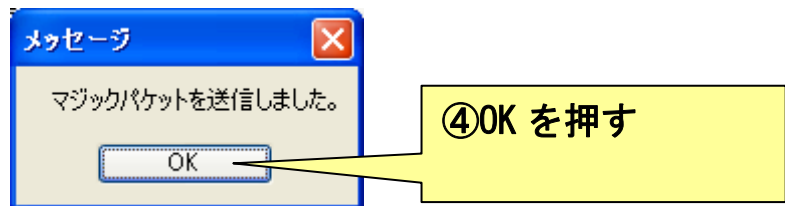
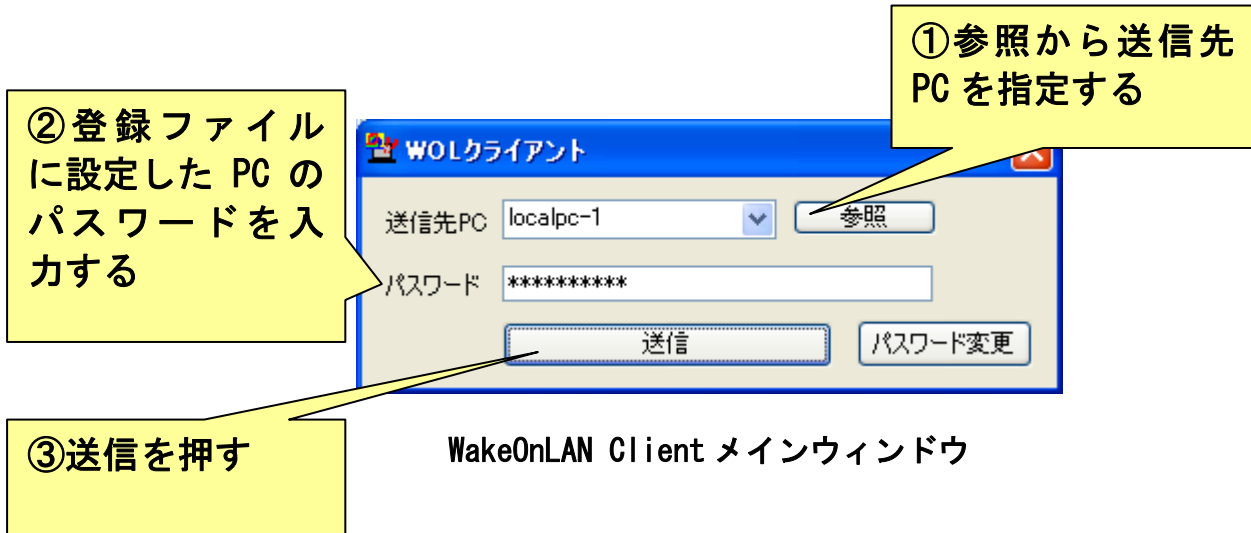
③一覧から MC3000 を選択、接続方法から [WOL] を選択して、「接続」を押します。



④WakeOnLAN Client メインウィンドウが表示されます。

参照から送信先 PC（起動させる対象機器）を指定して、登録ファイルに設定した PC のパスワードを入力し「送信」を押すと、起動命令が送信されます。

送信が完了すると、送信完了ウィンドウが表示され、「OK」を押すと、WakeOnLAN Client メインウィンドウは自動的に閉じます。



送信完了ウィンドウ

- |                                  |   |                              |
|----------------------------------|---|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 送信先 PC  | : | 起動させる対象機器を指定します。             |
| <input type="checkbox"/> 参照      | : | 電源管理のために登録した PC 一覧が表示されます。   |
| <input type="checkbox"/> パスワード   | : | 指定した PC に対して設定したパスワードを入力します。 |
| <input type="checkbox"/> 送信      | : | 指定した PC に起動パケットを送信します。       |
| <input type="checkbox"/> パスワード変更 | : | 指定した PC のパスワードを変更する場合に押します。  |

- ⑤対象機器の電源がオンされ、OS、MagicConnect Client が起動→USB キーのリモートデスクトップクライアントが起動して対象機器に接続されると Windows のログオン画面が表示されます。  
※表示されるまでの時間は対象機器に依存します。



- ⑥対象機器（操作される側）の Windows OS のユーザー名とパスワードを入力し、ログオンします。

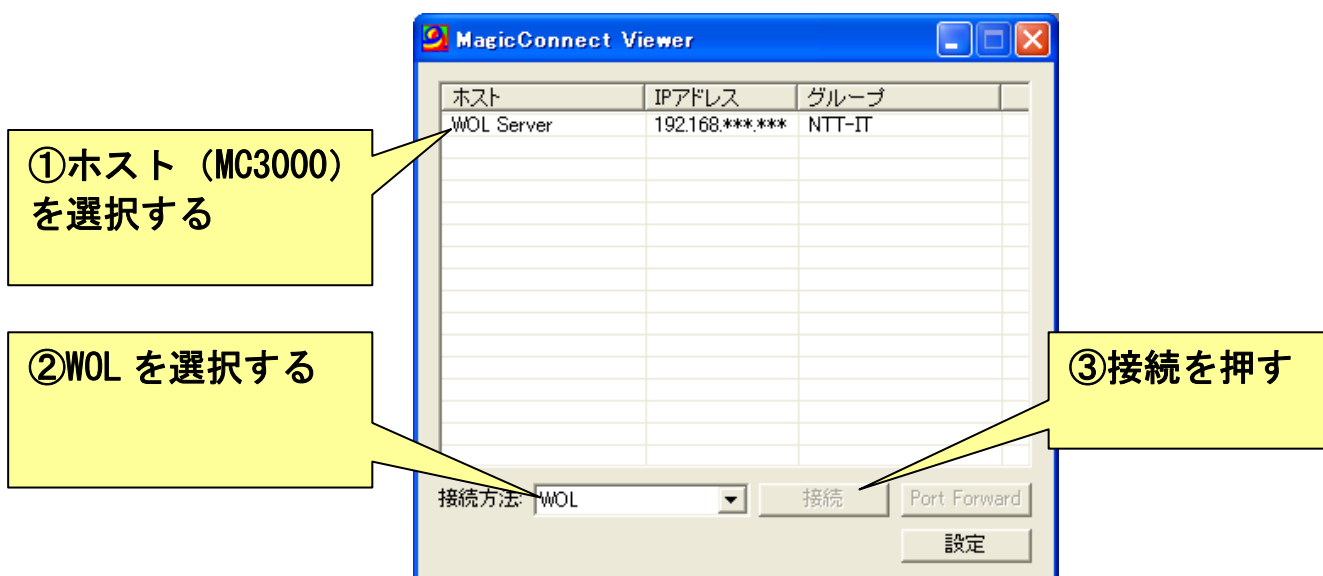
## 2) v2.7 以降のMagicConnect NDL (プラスを含む) でない場合

説明は MagicConnect PRO の画面を例に行っています。

- ①USB キーを装填して MagicConnect Viewer を起動し、ユーザ名とパスワードを入力して「OK」を押します。



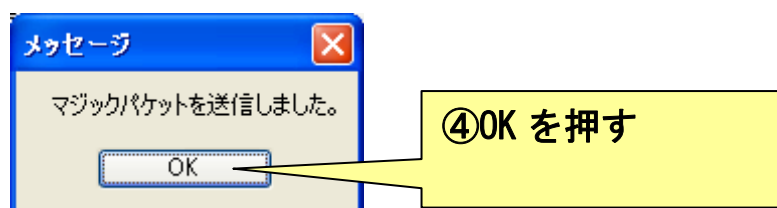
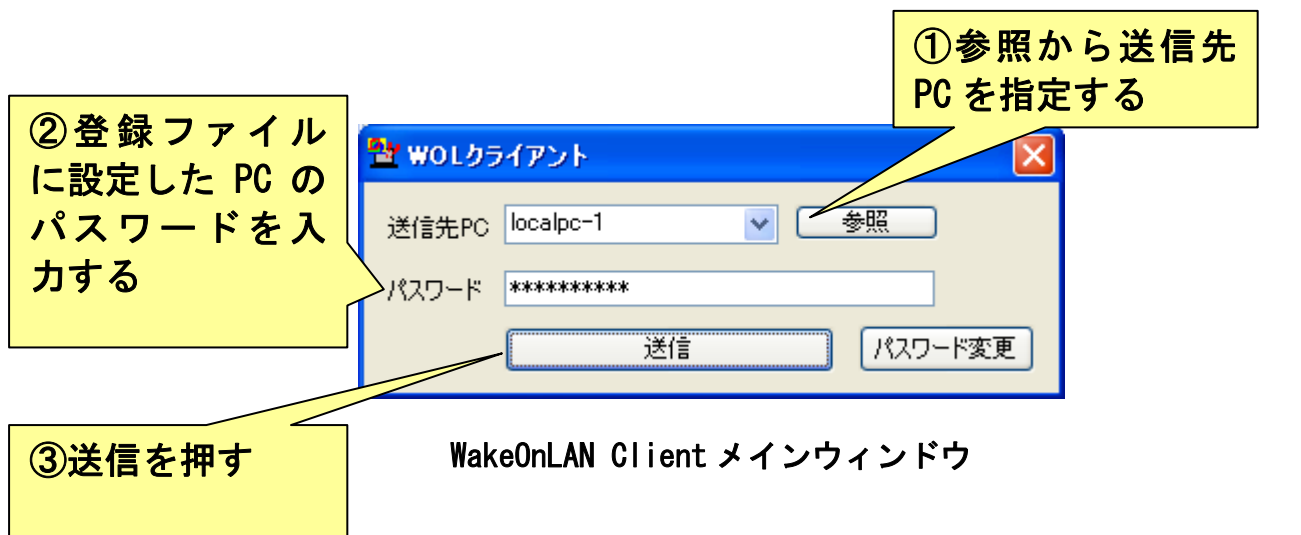
- ②一覧から MC3000 を選択、接続方法から [WOL] を選択して、「接続」を押します。



③WakeOnLAN Client メインウィンドウが表示されます。

参照から送信先 PC（起動させる対象機器）を指定して、登録ファイルに設定した PC のパスワードを入力し「送信」を押すと、起動命令が送信されます。

送信が完了すると、送信完了ウィンドウが表示され、「OK」を押すと、WakeOnLAN Client メインウィンドウは自動的に閉じます。



送信完了ウィンドウ

- |                                  |   |                              |
|----------------------------------|---|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 送信先 PC  | : | 起動させる対象機器を指定します。             |
| <input type="checkbox"/> 参照      | : | 電源管理のために登録した PC 一覧が表示されます。   |
| <input type="checkbox"/> パスワード   | : | 指定した PC に対して設定したパスワードを入力します。 |
| <input type="checkbox"/> 送信      | : | 指定した PC に起動パケットを送信します。       |
| <input type="checkbox"/> パスワード変更 | : | 指定した PC のパスワードを変更する場合に押します。  |



## 3-2) 電源オフ手順

利用アプリケーションにより、操作が異なります。

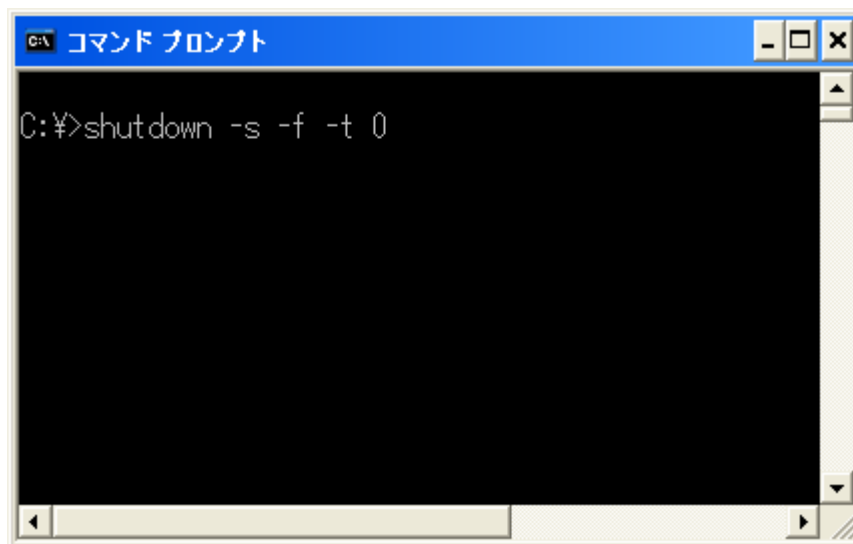
### ■ リモートデスクトップ接続の場合

対象機器が、Windows XP、Vista、7 の場合は、Web に掲載してある[Windows セキュリティ]からオフ（シャットダウン）する手順をお読みください。URL は以下となります。

<http://www.magicconnect.net/support/common-instruction.html>

- ① コマンドプロンプトを開き、コマンド[shutdown -s -f -t 0]を実行します。  
※リモートデスクトップ接続では、スタートメニューからの電源オフはできません。

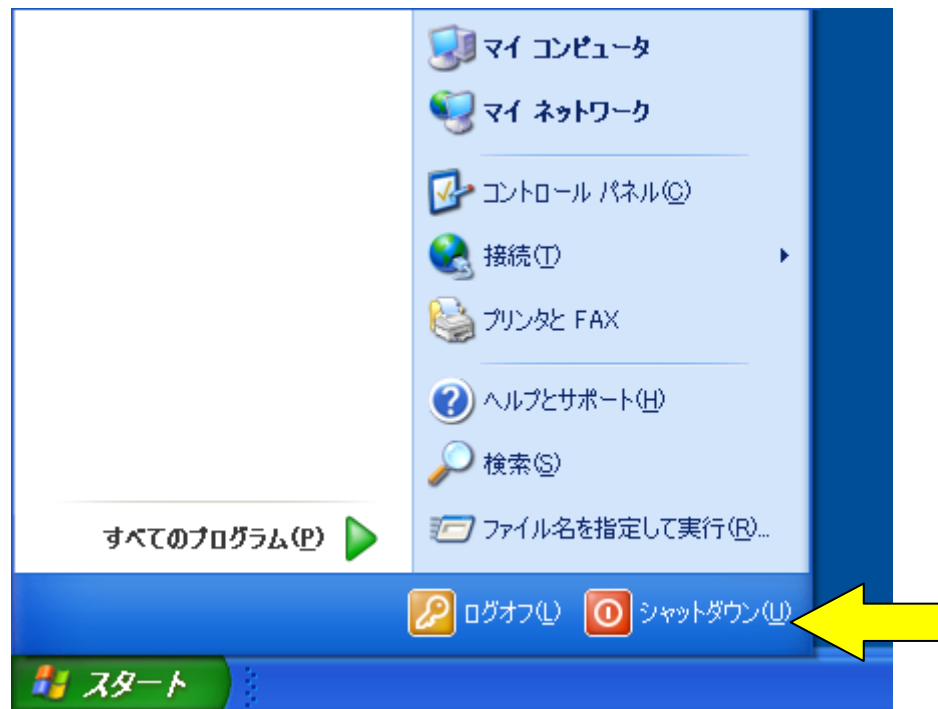
なお、記載のコマンドオプションは一例です。[shutdown /?]でヘルプが表示されますので、適当なオプションを指定してください。



- ② MagicConnect Viewerを終了して、USBキーを取り外します。

## ■ VNC 接続の場合

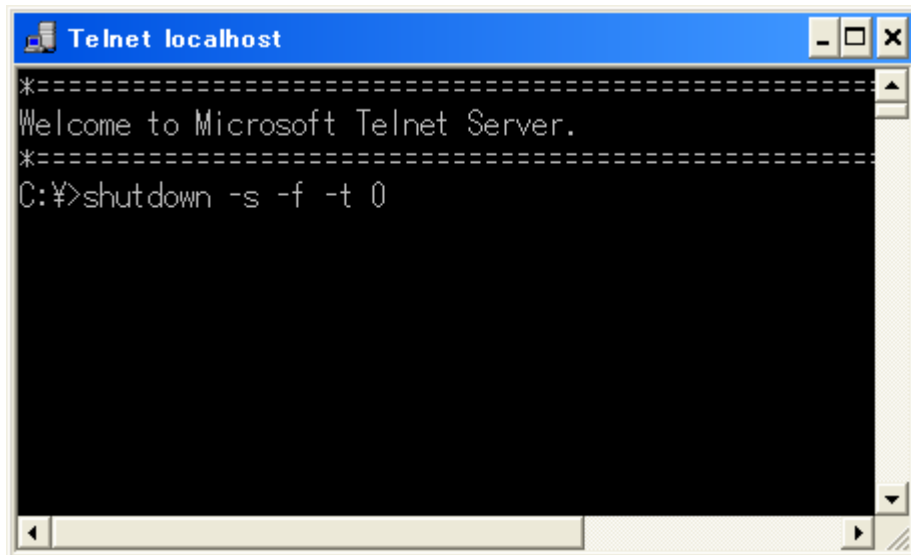
- ① スタートメニューからシャットダウンを選択してください。



- ② MagicConnect Viewerを終了して、USBキーを取り外します。

## ■ Telnet 接続の場合

- ① コマンド[shutdown -s -f -t 0]を実行します。  
但し、このコマンドは、Windows XP や Windows Server 2003 では標準コマンドとして、あらかじめシステムに用意されていますが、以外の OS には用意されていません。  
Windows 2000 では Resource Kit に含まれています。その他の OS については、OS のヘルプ等でコマンドの有無を確認してください。



```
Telnet localhost
*=====
Welcome to Microsoft Telnet Server.
*=====
C:¥>shutdown -s -f -t 0
```

- ② MagicConnect Viewerを終了して、USBキーを取り外します。

WakeOnLAN コントローラ MC3000 ユーザ利用手順書

---

発行日 2011年 06月 06日 第2.0版発行

発行所 NTTアイティ株式会社

〒231-0032 横浜市中区不老町 2-9-1 関内ワイズビル

---